

都農町地域資源マップ

14班 (平島渉太郎 田中真人 保坂季 永井絆夏)

都農町分子村



①

御年神社

民家と隣接している神社。踏み面の奥行きが深い階段が5段ほど続いた先に本殿がある。境内に電柱が1本立っている。管理が行き届いており、端然としている。



②

カッパ塚

カッパ塚は名貴川を南の方角に下っていき、目の前に見える坂のことであり、坂の途中に河童の像が2つおいてある。都農町には河童の伝説があり、昔々近くにある名貴川に河童が現れ、悪さをしていた。徳泉寺に住んでいた和尚さんがお経の力で河童を反省させ、改心させたという話が残っている。



③

田んぼ、畑

分子村ではお米、カボチャ、トウモロコシを育てていた。田んぼには、草刈りをする方や、田植えをしている方がいらっしゃった。カボチャ畑では、収穫作業を行っている方を見かけた。田んぼの前には民家が数軒あった。



④

徳泉寺

道元が祖である曹洞宗のお寺。坂を上った先にあり、人家に隣接している。かなり高い位置にあり、津波避難場所となっているが、かなり交配のきつい坂のため、足腰の弱い人は上るのに時間がかかりそうだ。



⑤

甘漬神社

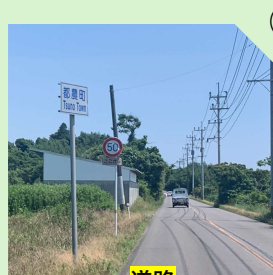
分子村内で、最も大きな神社であり、鳥居をくぐって少し歩いたところにひっそりとたたずんでいる。境内には狛犬が2体佇んでおり、近くには東京オリンピックが開催された際の記念碑が残っていた。東京オリンピックの影響がこのような地方まで及んでいたことに驚きを感じた。



⑥

畜産

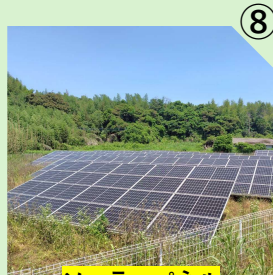
甘漬神社周辺ではヤギ、牛などの畜産農業を行っている農家さんがいらした。甘漬神社の本殿に行く道中で牛がこちらを覗いている様子がとてもかわいらしかった。また、神社のすぐ近くに牛舎があったため、動物特有のにおいが広がっていた。



⑦

道路

田んぼの横の道路には農業用重機や軽トラック、軽自動車が停められていた。高鍋美津津線は2車両分の幅しかなく、遊歩道など人が歩けるスペースはなかった。道の両サイドには田んぼとソーラーパネルが広がっていた。この道でも、数台の車の往来を見かけた。



⑧

ソーラーパネル

海・線路沿いには多くのソーラーパネルが設置しており、周辺は草木で覆われていた。宮崎の気候と分子村の土地を活用しており、広大な範囲での太陽光発電が可能である一方で、周辺の草木によってその活動が妨害されているのではないかと考えた。



⑨

JAみやざき大久保繁殖農場

JAみやざきの事業所の一つで経済連養豚実証農場。繁殖農場とは家畜の交配や出産、子育てを行うまでの農場のこと。家畜の飼育はかなりの匂いや音を伴うため、一方は崖、森でもう一方は道路となっており、周辺に民家などは見られなかった。



⑩

名貴川

都農町と川南町の境を東流し、日向灘に注ぐ。分子村は行政区画上の飛び地となっており、川を越えた分子村は地理的に都農町に属している。名貴川の水質は非常によく、川の底が見えるほど澄んでいる。河川遊泳場もところどころに設置されているようだ。分子村付近の名貴川には、悪さをしていたカッパを懲らしめるために、徳泉寺の和尚さんが、千の石を川に投げ入れながらお経を唱えたという伝説がある。



⑪

水路記念碑

水路が完成した際に記念として建てられた石碑。名貴川がすぐ近くを通っており、農業用水の利用のために水路は作られたと考えられる。分子村周辺は民家が点々としており、大部分を田んぼ・畑が占めており、農家の方が多いのではないかと考えられる。



⑫

倒壊した家

木造の瓦屋根の平屋が1階部分が完全に屋根につぶされる形で崩壊している。屋根などをたくさんの植物が覆っており、倒壊してからかなりの時間がたつてそうである。建物の中には生活用品がそのままにされており、撤去される様子はない。



実習の感想

私たちは今回の実習で都農町の最南端にある分子村でフィールドワークを行った。この実習を通して都農町の良いところもたくさん見つかったが同時に問題点も見つかった。分子村は自然豊かで空気においしく海の眺めがとてきれいであり、隣人間でのコミュニティも広いように感じられた。しかし、フィールドワークですれ違う人は高齢者が多く、若年の人が少なかったため、土地の管理問題や、後継ぎ問題などが今後出てくると推測される。分子村を訪れる人が増えたり、産業が発展することでこの問題に対処できる。そのためまずは分子村の現状をいろんな人知ってもらい必要があると考える。

このように、私たちは分子村に行き様々なことをみたり、聴いたりした。その中には実際に現地に行かないとわかりづらいことだったり、伝わらづらい雰囲気があった。この素晴らしい分子村の魅力を伝えるためにまずは一度足を運んでほしい。